



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

学内においては ESD が浸透した各学年の成長段階に合わせたカリキュラムを通年の授業時間内に実施した。

#### 【国際理解】

2016 年度はオーストラリアの 2 つの学校からの短期ホームステイ受け入れと学校内での交流を実施。

#### 【環境・生物多様性】

小学 6 年生の児童が和歌山県にて 3 泊 4 日の自然体験の研修を行った。北大研究林の古座川源流を観察し、上流から河口までカヌーでツーリングした。また鉱物学の学びと関連して、源流や川辺、海辺の岩石の観察を行い、鉱物の循環を退官した。川辺でのキャンプなど自然を存分に味わう体験を重ねた。

中学 2 年生の生徒が沖縄にて 6 泊 7 日の研修を実施、自然・環境に対する意識を高め、自然観察などを行った。

#### 【食育】

小学 3 年生のクラスでは生活科の授業の中で年間を通して様々な「食べ物」を育て味わう機会を持った。春のヨモギ団子作り、一年をかけた米作り、野菜作りなどを行い、収穫したものを調理して味わった。また梅干し、干し柿、たくあん、味噌など日本の伝統的な保存食や加工品を手作りした。

小学 4 年生のクラスでは地域の学びと関連して、郷土の特産品である「田辺茄子」を中心に、様々な食材で調理を行い地産地消の大切さを実感した。

#### 【伝統文化】

中学 1 年生のクラスでは、日本史の学びとあわせて半年間、週一回茶道を体験する時間を設けた。また古典の授業時間とクラスの活動時間を使って、約 2 か月間狂言に親しみ、プロの狂言師の方からもご指導いただき保護者に向けた発表を行った。

以上の他に、高等部生徒が大阪、京都のユネスコスクールネットワークを通じた様々な活動を展開した。

ASP net 大阪では、2016 年 12 月に行われた日韓中 ESD ワークショップに向けた準備セミナーを重ねて当日を迎えた。

ASP net 京都では、2016 年 11 月に上賀茂神社にて行われた ESD ワークショップに参加し、ディスカッションや各校の活動紹介のポスターセッションなどを行った。

昨年度は ESD 推進を担うサステイナブルスクールにも認定され、教員の研修会も活発になった。それぞれのネットワークにおける教員同士のつながりをよりいっそう深める一年となった

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）